



# 志津南 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (7/31 現在)  
世帯数 2,221 総人口 6,161 人  
発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-507-6496  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

## 第6回かがやき祭り 大盛況だった子どもコーナー



かがやきの丘町内会(白石雅紀会長)は、8月20日17時より、かがやきの丘北公園で「第6回かがやき祭り」を開催しました。昨年同様、暑さを避けて夕方の開催となりました。写真。公園と、隣接する町内会館「きらり」に焼きそば、フランクフルト、かき氷

かがやきの丘町内会(白石雅紀会長)は、8月20日17時より、かがやきの丘北公園で「第6回かがやき祭り」を開催しました。昨年同様、暑さを避けて夕方の開催となりました。写真。公園と、隣接する町内会館「きらり」に焼きそば、フランクフルト、かき氷

## まちづくりセンターの指定申請へ 選定委の評価を経て市議会審議に

まちづくり協議会(中原勝一会長)は、8月24日の草津市まちづくり協議会連合会の役員会において指定管理料の基準価格が提示されたことを受け、これを基に指定管理者の指定申請書を作成し、9月末までに草津市に提出することになっています。

来年4月からの指定管理に向けての今後の予定としては、まず10月初めに開催される草津市指定管理者選定委員会(有識者等構成)で申請者の評価を行い、指定管理者の候補者が選定されます。

次に、11月末に開会される草津市議会において候補者を指定管理者とする議案が提出され、審議されます。

市議会での議決・承認を受けると、来年の1月中旬ごろまでに、草津市とまちづくり協議会とで協定を締結することになります。

その後、ハローワークを通じて職員を募集し、指定管理のための体制を整えて、4月からまちづくり協議会がまちづくりセンターの管理運営に当たります。

かがやき祭りに先立ち、かがやきの丘北公園で、防災イベントが行われました。当日は、南消防署から消防隊員5名と消防自動車(ポンプ車)に来ていただき、「消火器の取り扱い」「消火栓の取り扱い」等を学びました。快晴という天気はよかったです。気温35℃を超えるという猛暑の中でイベントはスタート。

最初に、隊長さんから草津市の防犯・消防関連の近況や動向の話がありました。この後、訓練がスタート。まずは「水消火器」を使っての消火活動。「火事だ」と



## 即席消防隊 見事な連携

叫んで風上から火元へ。3〜5mに近づき、ホースを火元へ向けて発射。皆さん上手に消火していました。大人より子供たちの方が大きな声が出ていました。消火器を使う事態が無ければ良いのですが、使用の際は無理をせず「自分の命を第一に」心がけて下さい。

次に、消火栓の取り扱い。ここは大人の出番です。消



からあげやジュースは完売し、ふれあい夏祭りでの経験を活かしたかき氷コーナーは手際も良く、日中の暑さも手強い、最多販売数でした。数種類のシロップをかけた「レインボー」も登場し、大変賑わいました。

なごみ会のコーナーではお菓子づくりの他に小さな子どもたちがお絵かきをしたりするコーナーの人氣が高くなり、楽しいひと時を過ごしました。また、子ども会のコーナーでは、あて物の景品の花火や水鉄砲が子どもたちにとっても喜ばれ、当日売りのみでしたが、たくさんの子もたちが並び、大盛況でした。

終了時間間際からの小雨による閉幕となりましたが、盛況なうちに終わることができました。

ご協力をいただいたボランティアの方々、ターフをはじめ、様々な道具をもち寄って下さった皆さん大変ありがとうございました。

火栓の仕組み、ホースの伸ばし方、ツナギ方、たたみ方を学んだ後、実際に放水訓練。町内会長を隊長とした即席「かがやきの丘町内会・消防隊」ですが見事な連携を見せ、無事に放水活動を行いました。貴重な体験だったと思います。参加された方は、ぜひ周囲の方に体験談を話してください。よろしくお願ひします。

また、消防隊員の方のおしゃべり、装備の紹介、消防車との記念写真と、子供たちは目をキラキラさせ楽しんでいました。

猛暑の中で参加された町内・消防の方々、準備にご協力いただいた方々、ありがとうございました。

(かがやきの丘町内会 防犯・交通部長)

# 万華鏡づくりにチャレンジ

地域協働合校推進委員会（斉藤充浩委員長）は「南っ子宿泊体験2016」を8月6～7日に志津南市民センターで開催しました。小学生4～6年生30人が参加



色々なことにチャレンジしながら集団生活と宿泊を体験しました。初日はまず、「吹きガラス工房わかくさ」の八木夫妻（若草五丁目）のご指導のもと、万華鏡づくりにチャレンジしました。写真。子どもたちは内側に鏡を入れた筒作りや、プラスチック板への色

ガラスの貼り付けに夢中になって取り組んでいました。出来上がった万華鏡をカメラで覗いてみると、きれいで不思議な模様が映し出されました。

夕方にはロケットに風呂に行き、皆で入るお風呂ではしゃぎすぎでしまい、一般のお客さんに迷惑をかけてしまう場面もありました。楽しい時間を過ごすことができました。

夕食後、「和太鼓湖響」の皆さんの指導で和太鼓の演奏の鑑賞と体験をしました。

入浴から帰った後は夕食の皮むきやカット、煮込みなどを真剣な表情で取り組んだ結果、おいしいカレー

2日目は、ペットボトルロケット作りに挑戦、500ミリリットルのペットボトル2つを組み合わせてロケットの胴体を作り、牛乳パックの紙で羽を取り付けると完成です。若草中央児童公園で発射実験をしました。

この宿泊体験を通し、子ども達からは、「きれいな万華鏡が出来上がった良かった」「自分で作ったペットボトルロケットを飛ばせたのが楽しかった」「夜が楽しすぎてあまり眠れなかった」などの声が上がりました。

# 愛の声かけパトロール

青少年育成委員会（永田幸信委員長）では今年度も「愛の声かけパトロール」を実施します。8～12月の土曜日の夕方から、若草一丁目、岡本町西、かがやきの丘、コーシーガーデン、追分鴨田、追分南の各町内会の役員の方々の協力を得て、各地区の公園、商業施設等をパトロールします。写真。



青少年を取り巻く環境をより良くしていくために、皆さまの協力をお願いいたします。

ひとこと 初めて展示した思い出の作品です。うれしい事に、この書を見て書道始めた方がいらっしやいました。現在、遠藤溪石に師事 青潮書道会特選受賞、書芸院二科員



## 趣味悠々

書 「謙遜」 制作 山本東湖 若草1丁目



## 変化に伴い、正しい人権認識を



人権教育推進委員会（柱谷一希委員長）は8月27日、「人権トーク推進者研修会」を志津南市民センターで開催しました。写真。

今回は草津市同和教育啓発講師団の片山恵泉さんを講師にお招きし「社会とともに人権も進化している」と題して講演をしていただきました。当日は10月～11月に各町

内において開催予定の「人権まちづくりトーク」（旧町内学習懇談会）を推進する町内会役員、人権教育推進委員、草津市の人権教育推進協力者など計60人が熱心に耳を傾けました。

片山さんは、時代や社会変化に伴って、義務教育における人権学習の内容も日々変化していることを、これまでの歴史を踏まえながら説明してくださいました。「北海道での男児置き去り事件」や「うどんカルタ」などタイムリーなお話を交えながら、現代社会で起る問題の多くは人権差別の問題が複雑に絡んでいると訴えられました。それと同時に私たちが間違った認識を持っていることが多いのも事実であり、誰もが人権に対する正しい認識を持続けるためにもその感覚を絶えず磨くことが大切であると説かれました。

# 中央公園に「かまどベンチ」



公園は災害時一次集合場所並びに避難所となっております。若草五丁目町内会の協力を得て実現しました。

日常は一般ベンチとして使用し、災害時は「かまど(炊き出し)」として活用できます。

地域防災の基本は、自らの命は自らで守る「自助」と共に、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」が重要と言われています。

かまどベンチは単に災害時に役立つ設備ではなく、

若草・岡本西地区自主防災連合会(秋本勉会長)は8月、若草中央公園内にかまど(炊き出し)ベンチを設置しました。写真。中央



お薬  
よもやま話

<6>

小さな傷でも細菌が入ると化膿して腫れ、それを放置すると段々酷くなり、激痛・高熱が出ます。そして遂には細菌が血管に入って増殖し、血や組織が腐る敗血症になり死に至ります。

第一次大戦の頃、これを防ぐには傷の洗浄・消毒・包帯・焼きこて・手足切斷などが頼りでした。しかし、今では抗生物質など優れた抗菌薬があるのでまず安心

災害時を想像させる機会をつくり、訓練の場を作るなど、さまざまな効果が期待できます。

今後は各種団体との連携による非常食体験訓練等に活用していきたいと考えています。

## 大きなかぼちゃにびっくり



7月28日志津南小学校「地域ふれあい農園」で、子どもたちが大きく育った立派なかぼちゃ13個を収穫しました。写真。

夏休み期間中とあって早朝ラジオ体操に参加した児童有志10数名と保護者や緑化ボランティアの方々から収穫に参加。子どもたちは大きなかぼちゃにびっくり、

です。

1932年、ドイツのパイオニア社研究員G・ドーマクは、生きた細胞や細菌をその頃発明されたアゾ色素で染め、顕微鏡観察していたところ、プロントジルという赤色染料を使った時には細菌が死滅して失敗しま

### パイオニア

した。しかし彼は「プロントジルが抗菌薬として使えるかも」と気付き、さっそく詳しく調べたところ、多くの細菌で同じ結果が得られました。

そして、動物を使ってプロントジルの有効性を確認



ントジルを娘に用いたところ、劇的に治癒に成功しました。これが歴史上初の注射用「サルファ剤」登場の逸

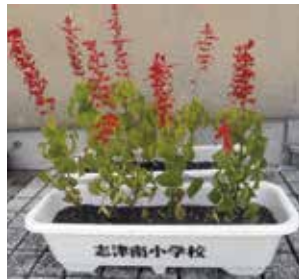
する段階を進めていた時、折しも彼の幼い娘が重篤な連鎖球菌感染症に罹りました。迷いを振り切り、プロ

話です。

ファーストペンギン(天敵がいるかも知れない海に群れの中で最初に飛び込むペンギン)として、わが子を二か八かの実験に使うなど一見無茶な話に思えますが、さていかげなものでしょうか。

その後、多くの優れたサルファ剤が開発され、ドーマクはその功績により1939年ノーベル医学生理学賞に決定。ところが、ナチスドイツの国民への授賞が禁止となったことから一旦は辞退しましたが、第二次大戦後に改めて授与されました。(S・O)

## 「人権の花」運動満開に



ハサミを片手につるから切り取る初めての体験に大はしゃぎでした。収穫したかぼちゃはさつま芋の収穫ができる10月まで同校で保管し、さつま芋の収穫と併せて関係者の皆さんと収穫祭を楽しみます。

今夏は日照り続きで水やりが大変ですが、秋の沢山の収穫を願い、子ども達の芋掘り体験を喜ぶ姿を楽しみにしながら、緑化ボランティアの方々には、もうひと踏ん張りお願いします。

志津南小学校(葛本茂樹校長)ハート委員会の子どもたちが、「みんなで咲かせよう人権の花」を合言葉に大

切に育てたサルビアを市民センターや若草郵便局、若草くるみ保育園、ふれあいハウス等に贈りました。この「人権の花」運動は、心身ともに健全に育つことが望まれる時期に、子どもたちが互いに協力し合いながら花を栽培することによって、子どもたちの情操をより豊かにし、命の大切さや相手の立場を考えると

## 若草四丁目「バケツ一杯水やり隊」

若草四丁目町内会(秋本勉会長)が、8月13日と20日の2日間、緊急の水やり「バケツ一杯水やり隊」の声掛けを行いました。

日頃から各町内会の環境皆さんが緑を枯らさぬ努力をしていますが、この夏の異常気象で水不足が続く、危機に瀕する状態となったために企画されました。



ケツ一杯の水やりを行いました。写真。

子どもたちはこの春に人権擁護委員・民生委員児童委員・人権教育推進委員会委員長の皆さんとともに、手のひらに乗せた米粒のようなサルビアの種を一粒ずつ丁寧に蒔きました。その後、発芽した800本ほどの苗の植え替えを2回ほど済ませ15センチくらいのお大きさに育てました。サルビア(滋賀県の花)は、たくさんのお花が仲良く寄り添いながら咲く美しい花です。

20日に予定していた水やりは16日に雨が降ったため中止しました。

お陰で2月に「緑の募金」還元事業で配布を受け植樹した25本の「ドウタンツツシ」をはじめ遊歩道樹木は何とか持ちこたえることが出来ました。

暑い中、ご参加いただいた皆さまに、この場をお借りし、お礼申し上げます。

# スポーツまつり25日に開催

スポーツにふさわしいさわやかな季節となりました。体育振興委員会(仮家総委員長)では、9月25日(日)に第12回スポーツまつりを開催します。

若草・岡本西地区を対象とした12回目の開催となりますが、平成29年度からは追分南、かがやきの丘、コージガーデン、追分鴨田を含め、学区事業として運営できるスポーツまつりの検討を行っています。

そのようなことから、今回は、志津南小学校のグラウンドと体育館を実施会場として行い、地域の活性化と全体の親睦がはかれるよう「つながり!」今日は笑

# 人権まちづくりトーク日程

人権教育推進委員会は人権まちづくりトークを次のとおり開催します。

- ▽若草一丁目 11月20日(日) 18:00~ 第一集会所
- ▽若草二丁目 10月15日(土) 19:00~ 第一集会所
- ▽若草三丁目 10月15日(土) 17:00~ 第三集会所
- ▽若草四丁目 10月15日(土) 9:00~ 第三集会所
- ▽若草五丁目 11月19日(土) 19:00~ 第五集会所
- ▽若草六丁目 10月15日(土) 17:00~ 第六集会所
- ▽若草七丁目 10月16日(日) 18:00~ 第七集会所
- ▽若草八丁目 10月15日(土) 18:00~ 市民センター和室
- ▽岡本町西 10月15日(土) 18:00~ 市民センター会議室
- ▽かがやきの丘 10月8日(土) 9:00~ きらり会館
- ▽コージガーデン 10月22日(土) 18:00~ コージガーデン自治会館
- ▽追分鴨田 11月12日(土) 19:00~ 市民センター和室
- ▽追分南 11月26(土) 19:00~ 追分南会館

待ちしておりますので、自由参加種目に、そして応援よろしくお願いいたします。

# 魔法のパパ・ママコーチング

すこやか 青少年育成委員会(永田幸信委員長)は「すこやかセミナー」を次の要領で開催します。

先般、北海道林道で児童置き去り事案があり、世間では「しつけ」について議論となりました。そこで、(株)日本青少年育成協会理事・主任研究員 大澤一通先生を講師に招き、小中学生の子どもの達との向き合い方を学びます。

「子どもが反抗期で言うことを聞かない」などとお考えの保護者や指導者の方は、是非ご参加ください。

▽日時 10月15日(土) 午前9時45分受付 10時~11時30分

▽内容 親子で楽しむ体操 あそび

▽対象者 未就園児と保護者

# 男の料理講習会

健康推進員連絡協議会(岡敬子代表)は、次の要領で「男性のための料理講習会」を開催します。

男性のためと銘打っていますが、今回はどなたでも参加可能です。ふるってご参加ください。

- ▽参加費 無料
- ▽申込不要で、当日志津南市民センター会議室にお越しください。
- ▽日時 9月24日(土)
- ▽場所 志津南市民センター調理室
- ▽内容 野菜たっぷりメニュー
- ▽参加費 200円
- ▽締切日 9月17日(土)
- ▽申込先 同市民センター 電話(563)6206

# 折々の記



日本中に感動を与えてくれた、リオデジャネイロオリンピックが8月21日に全日程を終え閉幕しました。

つつい夜更かししてテレビ観戦してしまい、寝不足のまま仕事に行く日も多々ありました。

よく聞くことではありませんが、メダル獲得の好成績をおさめた選手も、多くは決して天才肌では無く、幼少の頃はごく平凡な子ども

# ありのままに

の体操大会では、参加者中ただ一人、後方宙返り(バク転)ができて最下位に終わったそうです。

鎌倉時代の偉人の言葉に、「人は大きな可能性を秘めており」生まれたばかりの王子が産着に包まれたよう

で、まさかあの子がオリンピックでメダルを取る選手に成長するとはという事があります。

なものであり、生まれたての大竜のようなものである。決して軽んじてはいけない。(趣旨)とあります。

四人の子どもの子育てに日々奮闘する私は、リオオリンピックを見て、この偉人の言葉を思い浮かべながら、「なぜ、こんな事も出来ない」「なぜ、こんな事が理解できない」と自身の勝手な理想に子どもを当てはめようとしていた姿勢に気が

かされ、猛省。ありのままに、子どもたちの存在そのものに感謝しながら、賑やかな夏の日々を楽しく過ごしました。(K.K)

# 資源回収

- 毎月第1・3日曜日
- ★若草1~5丁目町内会
- 毎月第2・4日曜日
- ★若草6~8丁目町内会
- 毎月第2・4土曜日
- ★かがやきの丘町内会
- 毎月第1・3土曜日
- ★フォレストローズ子供会
- 毎月第2日曜日
- ★向山子供会
- ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着